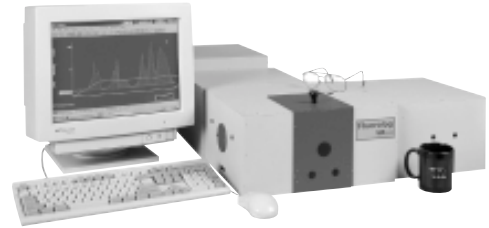


### 蛍光分光測定装置 Spectrofluorometer SPEX Fluorolog-3

蛍光分光法は、物理、化学、生物、食品、生化学、医薬、医学などの広範囲にわたって応用されている分光分析法です。SPEX Fluorolog-3は、光源、分光器、検出器を実験の目的、測定波長範囲、予算に合わせて選ぶことができるモジュール方式の蛍光分光測定装置です。



SPEX Fluorolog-3は、迷光特性(スペクトル純度)、感度、波長領域などの各種パラメータに応じてコンポーネントを選択できます。これにより、フレキシブルなシステム構築が可能で、装置のグレードアップも容易です。さらには、コンピュータによる完全自動化で、装置のセットアップや波長校正、測定条件の保存、データの解析処理を簡単に行えるのも特長です。

また、励起側分光器の後ろに変調器を配置することで、ピコ秒蛍光寿命測定システムも構築できます。このシステムは、エネルギー移動、ダイナミック偏光解消、その他多くの時間分解依存型アプリケーションに対応できます。

超高感度、高精度、簡便性を追求したSPEX Fluorolog-3は、光学関連技術に優れた実績をもつホリバグループのジョバンイボン社(アメリカ)から提供します。

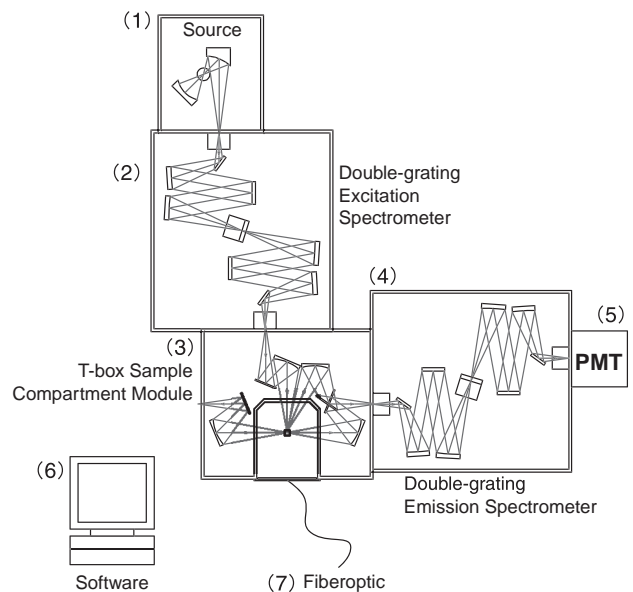
#### 特長

1. 光子計数法を採用しているため超高感度を実現、超低濃度試料の測定が可能。
2. 測定時間を短縮し、多数の測定を可能にする高速スキャンを採用。
3. 電源スイッチを入れるだけで測定準備がOK、特別な光学調整は不要。簡単な波長校正を実現。測定設定を保存できるので測定条件の設定ミスを防ぎます。
4. 光ファイバーバンドルアタッチメントを装着することで *in vivo* サンプルングを実現。その他多様なアクセサリアタッチメントで、多様なアプリケーションに対応。
5. 試料、測定条件に適したコンポーネントを組み立てによるカスタムメイド装置。



#### 装置 SPEX Fluorolog-3(モデル FL3-22)の 基本構成の一例

究極の低迷光分光システムを採用。励起側および蛍光側分光部にダブルグレーティング分光器を配置しているため、脂質やたんぱく質などの生体試料、半導体、粉体またはリンなどの固体試料からの散乱光を完全に除去できます。ダブルグレーティング分光器の採用により、高いS/N比とともに高分解能が実現できます。オプションの自動中間スリットをつけることで迷光の戻りはいっそう低減されます。



- (1) 450W Xe CW ランプ・ランプハウジング・電源
- (2) 励起側ダブルグレーティング分光器
- (3) リファレンス検出器付き T 型試料室
- (4) 蛍光側ダブルグレーティング分光器
- (5) 光子検出用 PMT
- (6) 電子系統およびソフトウェア
- (7) 光ファイバーバンドルアクセサリ